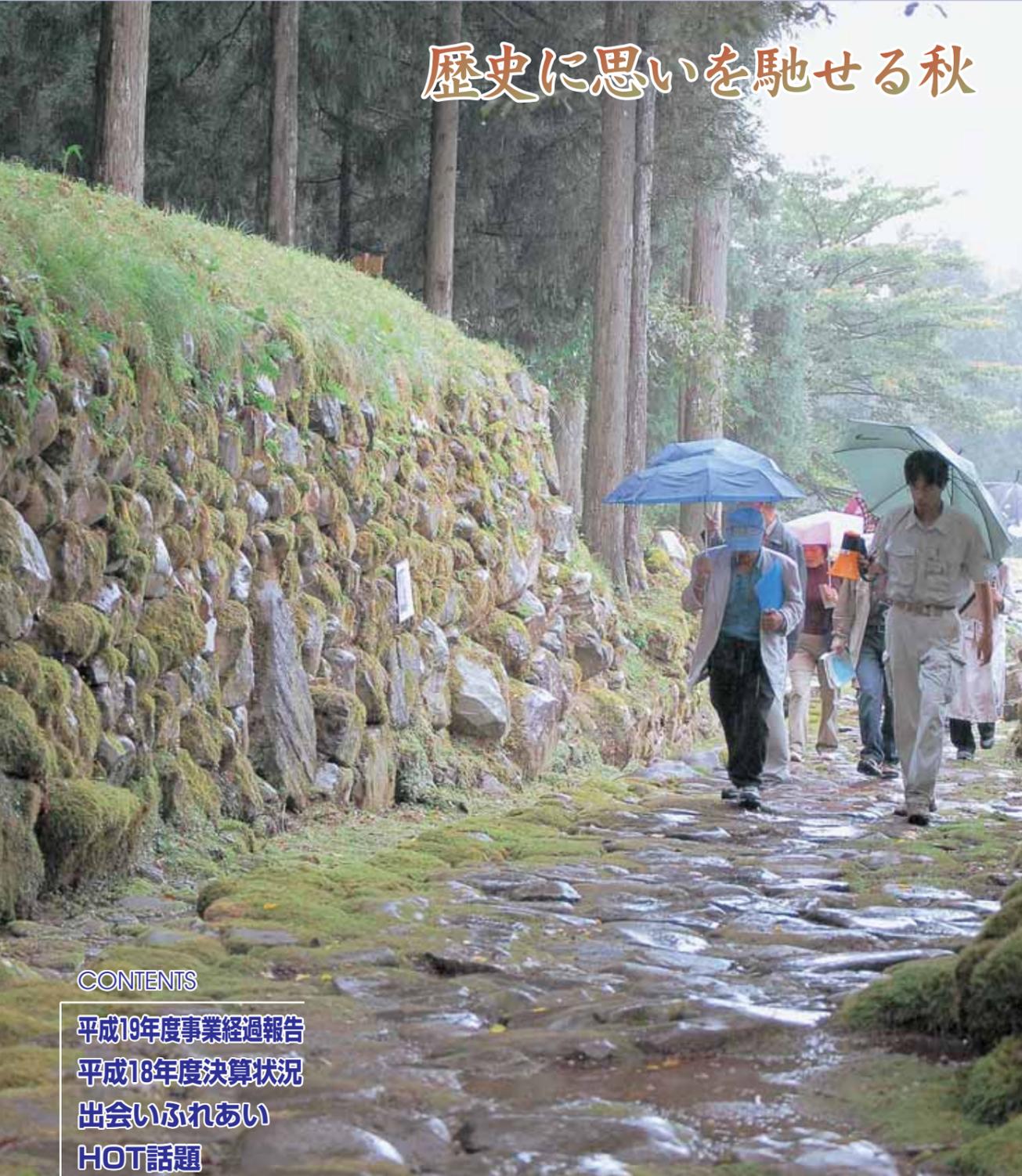


歴史に思いを馳せる秋



- CONTENTS
- 平成19年度事業経過報告
- 平成18年度決算状況
- 出会いふれあい
- HOT話題

歴史の散歩道 (82)

曹洞宗寺院で片瀬にある。元禄九年(一六九六)大野郡伊良猪右衛門昌勝が、小山村(現大野市)下舌に一宇を創立、宝慶寺二十八世寂心雲波和尚を招いて開山とし仏母院と称した。その後、宝永二年(一七〇五)四月、片瀬村と勝山笹又権兵衛が勝山藩に出願し、宝慶寺の承諾を経て今の片瀬に移し、無檀寺(檀家なし)として、真の禅味を悟るのに格好の近郷唯一の寺院とされてきた。明治四十一年仏母寺の寺格を得ている。

仏母寺は片瀬区の上方に林の中にひっそりと佇み、参道を少し進むと二メートル余の石垣があり、「不許葦酒入山門」の石柱が建つ。石段を上げれば山門があり、入母屋造り銅板葺きの大きな本堂がある。それまでは茅葺の建物であったが、昭和六十二年、多田清氏により改築される。本堂内には、五百羅漢像(未完)、十六羅漢像、釈迦三尊像(本尊とされる苦の仏像)等が安置される。

本尊はヒノキ一木造りの延命地藏菩薩立像(公共施設で保管)で、平安時代初期の作という。秘仏としてご開帳は三十三年に一度で、平成四年五月に行われている。像高は七十四センチメートルで僧形の立像で、頭部が大きく体部もがっしりとし、衣文も太く刻まれ、全体的に力強さの残る像である。頭部は頂が平らで、四角く奥行き



が深く作られる。左手に宝珠を持つが、右手は掌を正面に向けて下に垂らしている。(山形大学講師長坂一郎氏の論文より引用)

この寺は「勝山八景の一つ(師山の秋月)、大師山の麓に直下に在りて、眺望絶佳、小笠原侯君主屢々曳杖せられき」(「大野郡誌」)とあり、小笠原藩八代長守公や文人墨客が訪れていることで知られ、境内には正岡子規門下の松瀬青々や勝山出身の首藤素子、伊藤柏翠等の句碑もある。

古くから片瀬村の人たちによって守られ、釈迦の生誕を祝う灌仏会・涅槃会・地藏会・節分などが行われ、屋根の茅葺きかえなどの寺院の維持に努めてきた。

現在は三国の久昌寺(通称は羅漢寺)の住職が管理され、毎月二十四日に読経と写経が行われる。

勝山市文化財保護委員 増田公輔



写真上は仏母寺  
 写真下は「延命地藏菩薩立像」童顔風の顔立ちであるが、眼は釣り上がり、尾翼を張り、口をやや突き出し気味にして厳しい表情をみせる

仏母寺

**編集後記**

▶10月は秋本番。スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋、行楽の秋、読書の秋など、秋には人それぞれの楽しい過ごし方があります。暑くもなく寒くもないこの時期は、気力や体力も充実します。これを機会に仕事以外の人脈を広め交友を温めることも大事なことです。健康に気をつけて自分なりの秋を見つけてください▶19年度も上半期が終了。今月の紙面には18年度の決算状況の報告と共に、上半期に実施した身近な事業の経過もお知らせしています▶10月から市の各部署へ直通電話がかけられるようになりました。詳細は、7ページを参照ください。

**火災発生**  
 ☎88-5100(テープ吹き込み)

**休日・祝日在宅当番医**  
 診療時間▶AM9:00~PM5:00

10/14(日)	こせ整形外科	☎88-6655
10/21(日)	たけとう病院	☎88-6464
10/28(日)	木下医院	☎87-3333
11/3(土・祝)	竹下中央内科医院	☎88-1121
11/4(日)	坪川医院	☎89-1035
11/11(日)	小林眼科	☎87-7888

問 消防署(☎88-0400)

**交通事故発生状況**  
 ※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成19年9月末	前年比
総件数	367件	-3
人身事故(うち高齢者)	65件(20)	-4(+8)
死者(うち高齢者)	3人(2)	+3(+2)
傷者	73人	-12
物損事故	302件	0

**10月の納税**

市県民税▶3期  
 納期限▶10月31日(水)  
 口座振替▶10月26日(金)

**人口の動き**

	8月末現在	自然動態		社会動態		9月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	13,080人	9	16	7	17	13,063人	-17人
女	14,303人	4	5	13	26	14,289人	-14人
合計	27,383人	13	21	20	43	27,352人	-31人
世帯数	8,122世帯					8,110世帯	-12世帯

毎月第3日曜は **家庭の日** スポーツを楽しみ よい本に親しもう

